

移動市長室

筑紫野市商工会女性部

女性の輪(和)を広げ、光り輝く筑紫野へ



通算94回目となる移動市長室を、10月24日(木)に筑紫野市商工会館で開催し、筑紫野市商工会女性部の会員12人と懇談を行いました。



筑紫野市商工会女性部(女性部)は、昭和39年に発足し、今年で設立55周年を迎えました。地域経済の発展と、商工業に携わる女性としての資質の向上を目指して、さまざまな取り組みを行っています。平成26年1月以来2度目となる今回の移動市長室では、役員の皆さんの活動への思いなどを聞きました。

多岐にわたる活動

女性部では、先進地視察などの研修や、部員間交流のための交流会、

献血事業などの奉仕活動をしています。また、天拝山観月会やいきいき商工農フェスタでは、毎年趣向を凝らしたバザーを出店しています。

今年行った、いきいき商工農フェスタでは、豚井とフリーマーケットを出店。部員同士で協力し、成功を収めました。参加者も多く、いい交流の場になったとのこと。それらの活動は、年に一度発行される広報誌「いずみ」に掲載し、情報発信を行っています。

被災地から防災を学ぶ

平成29年度の研修で朝倉市を訪問した女性部の皆さん。被災に負けず営業している事業所や、復興のために熱心に活動しているボランティアの様子などを見て、防災への意識を新たにしました。いっここで災害

が起きるかわからない中、自分たちが地域で何をすべきかを考える機会になったとのこと。

役員の思い

役員の皆さんはそれぞれに事業を営んでおり、仕事も忙しい中、役員としての活動をしています。仕事を工夫しながら、できる範囲でできることをしているそうです。

ある役員は次のように話します。「役員の仕事のように、人前に出ることは本当は苦手です。だけど、自分にルールを決めて、できるだけ積極的になろうと心がけています。おかげで仕事だけでは得られない経験をしていると感じています」





人の和を広げる

女性部として大事にしたいことは、一人でも多くの人とのつながりを作り、地域で情報共有していくことだと本部長は話します。そのために、部員が楽しく活動できるような雰囲気づくりを大切にしています。「女性部の活動を通して「光り輝く筑紫野」を市と一緒に目指していきたい」と力強く語ってくれました。

参加者からの感想

・市長はとても親しみやすく、こうして地域に向向いて団体の話に耳を傾けてくださるのはとてもありがたいなと感じました。
 ・市長のお話を聞いて、改めてこのメンバーで女性部を盛り上げることに、そして光り輝く筑紫野へ貢献していくことへの意識を強くすることができました。

藤田市長の一言

明るくはつらつとして、みんな一丸となって活動に取り組んである、本部長の言葉どおりよくまとまっていらっしゃるなと感じました。

女性部のパワーがしっかり燃えていると、商工会の活動も発展していきます。女性部がさらに活躍して、筑紫野市商工会ここにありというぐらいの活動をしてもらいたいと思います。

非常に実のあるご意見をたくさんいただきましたので、今後の市政に生かしてまいります。ありがとうございます。

